

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	潜在看護師就労支援事業		
法人名	財団法人星総合病院		
学校名	ポラリス保健看護学院		
代表者	理事長 星 一 雄	担当者 連絡先	渡辺由美子 TEL 024-922-9105

1. 事業の概要

本研修会は、看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の資格を有しながらも、諸事情により現場を離れている方（潜在看護師）に、現在の医療情勢や看護の知識、技術等について教育することにより、スキルアップを促し再就職への意欲を高めることを目的に開催した。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

a 再就職に対する不安の変化について

8名の受講生に対して、再就職の不安について研修前後にアンケート調査を実施した。再就職への不安が最も強い状態を10、不安がない状態を0として、自分の今の気持ちに近い尺度を選択してもらった。その結果、研修前の再就職に対する不安は、最高値8 最低値5 平均値6.5であった。そして、研修終了時は、最高値8、最低値3、平均値5.4であり、最低値、平均値共に下がった。一方、最高値の8を選択した方は、医療現場の経験が少なかったため、今回の研修で不安を軽減するのは難しい状況であった。今後も継続して情報交換する必要があると考える。全体としては、本研修を経験することで再就職に対する不安な気持ちは低くなったといえる。

b 再就職について

研修修了後3ヶ月以内に看護の現場に再就職された方は、8名中の3名であった。他の5名は、活動分野の選択にもう少し時間をかけたい、家庭の状況が落ち着くまでもう少し待ちたい、という反応が返っている。また、8名全員が研修終了時の感想として、「医療や看護への魅力について再確認できた」、「今回学んだ知識を今後の生活で是非活かしたい」と述べている。今後も研修修了者へフォローアップし、各自の生活の状況に合った看護活動が実践できるように支えていきたい。

②事業により得られた成果

本研修プログラムは、当学院の母体である財団法人星総合病院の看護部と本学院の教員が中心になって作成した。プログラム編成にあたっては、当財団関連施設の看護職員の持つ特性や専門性をもとに、一般病院での医療・看護だけでなく、精神科医療・看護や老人福祉・看護などの多様性を理解する内容になるように心がけた。また、プログラムの運営では各施設の職員（看護職以外も）が講師や実習指導を担当し、指導力を活用することができた。このように、本研修に取り組むことによって、研修企画側も組織の持つ力を見直す機会になったり、研修者と共に自己研鑽意欲を高める機会になった。

③今後の活用

今回の事業で準備した、感染予防、安全対策などに関連した教材や各講師のレジュメは、今後、以下の場面に活用したいと考える。

- ・本学院の学生の授業
- ・これから行われる潜在看護師への研修
- ・本学院関連病院への中途採用看護師の研修

④次年度以降における課題・展開

・場所の確保：本研修の企画時、研修時期は本学院の12月中旬～1月の冬季休暇とした。しかし、冬季は交通事情により受講生がトラブルに巻き込まれるリスクが高いため、研修時期を11月に変更した。その結果、本学院の学生の授業と本研修の授業の場所の調整にやや苦勞した。今後、同様の研修を企画する場合は、夏季休暇に企画するか、他施設を借用するなどの工夫が必要である。

・期間：1ヶ月という研修期間は、じっくり学ぶことができるというメリットが大きい。しかし、短期間研修を望まれる方も多い。したがって、対象者の状況により、数日から1ヶ月までいくつかのバリエーションを作りリードにあった研修を工夫することも必要がある。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

研修事前調査

- ・調査のねらい～医療現場への再就職を考えている方々が現場復帰する上で必要な学習内容を知る。
- ・調査対象～平成19年4月～7月までに当財団法人星総合病院に再就職した看護職5名
- ・調査方法～聞き取り調査
- ・調査項目～再就職にあたってどのようなことが不安か、研修として何が必要か
- ・調査結果～自分の知識、技術が十分(通用するか)不安、自分が医療事故の当事者になってしまわないか不安。現在の医療、看護を具体的に知りたいが、ある程度期間をかけて知る必要がある。これらをふまえて、本研修を企画した。

研修前調査

参加者のプロフィール、研修受講目的、看護ケアに対する不安などを質問紙を用いて調査した。(資料4)

研修終了後の調査

- ・調査対象～研修参加者 8名
- ・調査方法～質問紙法

②カリキュラムの開発

- ・テーマ：再就職を目指す看護職の再チャレンジプログラム
- ・開発経緯：財団法人星総合病院では、平成18年8月から再就職を目指す看護職への研修(3日間コース)を開催し、平成19年7月までに10回開催し、26名が受講した。この研修受講後、再就職に至った方は21名であり、再就職率は80%であった。これらの経験を元に平成19年7月～9月に教育プログラムを見直し、最新の医療・看護に関する情報をより詳しく、より深く学ぶことができるように計画した。
- ・対象：潜在看護師
- ・手法：講義(知識)、演習(考え方)、共有会(先輩との情報交換等)、実習
- ・開発内容：医療、看護の動向、看護援助の方法(アセスメント、ケアの実践)、事故防止対策、感染防止対策、他 (資料6)

③実証講座

- ・テーマ：再就職を目指す看護職の再チャレンジプログラム
- ・受講者の属性：年齢 → 20歳代～ 50歳代(20歳代2名 30歳代1名 40歳代3名 50歳代2名)
看護職経験 → 5年以下 3名 10年以上5名
経験分野 → 一般病院5名 養護教諭・健診1名 老人介護2名
離職期間 → 1年未満 3名 1～9年 3名 10年以上2名
- ・受講者数：8名
- ・場所：ポラリス保健看護学院 星総合病院 星ヶ丘病院 介護老人保健施設オリオン
- ・受講者の反応：どの講義も非常に積極的であった。講義などに対する満足度も高かった。
(資料7参照)

④その他

本事業の対象者は、すでに看護職の資格を有してはいるが、様々な理由で医療現場を離れている方々である。今回の研修では、一般病院を始め精神科病院、訪問看護ステーション、老健施設など様々な活躍の場があることを知って頂き、視野を広げやりがいを感じられる現場を見出して欲しいと考えて企画した。担当スタッフとしては3名の認定看護師をはじめ、述べ50数名の講師や指導者が関わり、それぞれの分野で取り組んでいる事項を熱心に参加者に投げかけた。参加者もその意図を十分汲み取り、満足度の高い研修会になったと考える。